

なかま

発行
佐倉市立中央公民館
なかま編集係

〒285-0025
佐倉市鎭木町 198-3
電話 (043) 485-1801

2 ページ	琴欧州とダンス	金田 治子	夢物語 佐倉国際女子マラソン女王決戦	白石 義孝
3 ページ	若者(わかもん)	松井 史郎	初蛭	北村 耕三

離婚調停について

池田 圭 三

平成十八年三月末に退任するまで、千葉家庭裁判所佐倉支部の家事調停委員を六年間勤めていた。家事調停委員の仕事は、家庭裁判所に持ち込まれる家庭内の紛争を当事者である申立人と相手方から話を聞いて、当事者の話し合いで解決すべく、そのお手伝いをするものである。

家庭内の紛争は、離婚がらみの夫婦間の問題と相続問題が殆どである。私は主として離婚がらみの夫婦間調整問題を担当した。これは夫と妻が当事者となるため必ず男女の調停委員がペアで担当した。

結婚は簡単だが、離婚は面倒で解決すべき事項が多い。列挙すると、未成年の子供がいるとその親権者の決定。養育費の額。財産分与。借金があるとその分担方法。慰謝料を含む解決金としての一時金。又場合によっては年金の分割

方法他である。当事者の話し合いで合意に達するように調整する。合意に達した時は、調停条項案として書類にまとめ、最後に担当の裁判官が当事者を前にして合意事項を確認する。相違なしとなると調停成立。調停離婚の成立となる。六年間で六十件前後の調停離婚を成立させたのではないかと考えている。随分冷たい役割をしたと思われるでしょうが、離婚した方がお互いに幸せになると判断される場合が多かったのだ、逆に双方の幸せに貢献したと思っている。

又申立があったから全てやみくもに離婚させるわけではなく離婚より円満に解決する方がいいと判断される場合は円満調整を図る。円満解決に合意した場合は申立は取下げとなる。又離婚についての考え方が合意に達せず平行線の場合は調停は打ち切り、不成立又

は取下げとして結着させる。どうしても離婚したい場合は申立人が原告となり相手方を被告として離婚訴訟をして裁判で争うことになる。

家庭内の紛争解決手段としての家事調停は素晴らしい制度なのでPRしておきたい。家庭裁判所内に相談窓口があり調停の申立をしたい場合はその手続について説明してくれる。調停費用は千二百円と安く、申立をすると、第一回の調停期日と二名の調停委員が決まり、裁判所から相手方を呼出し話し合いに入ることになる。裁判と異なり秘密が保たれ、小さな調停室で丸テーブルを囲み、調停委員はさんで和やかな雰囲気の中で話し合いが進められ、自分の考えも述べ易く、調停委員が公正中立の立場で話し合いを調整するものの、どこまでも自分たちの話し合いで問題の解決を図る制度である。



(編集委員)

琴欧州とダンス

大相撲五月場所、琴欧州の優勝がかなり濃厚になってきた後半、ワクワクしながらテレビ観戦、勝って花道をひきあげて来た時の勝負師らしくない、人の良さそうなあの笑顔が可愛くてたまらない。

それにブルガリア出身が、また良いんだなあ！

千秋楽の次の火曜日、琴欧州の優勝を祝つてと銘打ち、フォークダンスのサークルで『ブルガリア特集』、ダンスは勿論ブルガリアの曲、ブルガリアの民族衣装、ブルガリアの楽器、ブルガリアの風景等の絵葉書を飾り、バルカン半島の東北部に位置するブルガリア共和国を地図上で赤く塗り、おやつはブルガリアの飲むヨーグルト（これを手に入れるのに四つのスーパーをまわってしまった。だって、ブルガリアでないとダメだから）で、会員と楽しい時間を

過ごせて、琴欧州に感謝、感謝。

私達はどれ位、ブルガリアのことを知っているのでしょうか？ ある知人にブルガリアのバラのジューズをいただいたき、甘い香りと味を楽しませてもらったことがあったつけ。ブルガリアのバラ祭りは有名な観光事業。つい先日、日本のブルガリア大使館でお客様を御招待して、バラ祭りを祝ったとのニュースは耳新しい。ブルガリアのダンス曲の中には、日本の雅楽の笙、ひちりきに良く似た音色がしたり、懐かしいメロディーがあり不思議、きつと起源は同じに違いないと自分勝手に信じている。

八月には、北京オリンピックも開催され、世界各国の選手がメダルめざして活躍することでしょうね。私達もダンスオリンピックを、また、楽しみましょう…。

（山王 金田 治子）



夢物語

佐倉国際女子マラソン

女王決戦

今、北京は興奮のつぼです。野口みずきがオリンピック二大会連続金メダル獲得の瞬間です。野口選手インタビューに答え…思い残す事？ Qちゃんと言いたいです。

マラソンファンの皆様こんにちは。今世紀最初にして最後の大レースが、野口とQちゃんの一騎打が、初春を祝うが如く、ここ歴史の街佐倉で開催されます。

岩名競技場をスタートしました。尚子像を左にみ、歴博のある城址公園に向かいます。ゲストを紹介します。智将小出監督と彼の元で世界を制した有森裕子・鈴木博美さんです。予想をお聞きます。K…野口さん心してかからないと…。A…プライドと意地の強い方が…。S…コース熟知のQちゃんが…。

蘭学通りの順天堂記念館前

です。実業団選手二十名が一同となり通過。第二グループは市民ランナー翔ひる子が引っ張っています。堀田邸前をオランダの選手が通過。開国に尽力した正睦も国際化を喜んでいることでしょう。ここからは草ぶえの丘に向かいます。草ぶえならぬQちゃんコイルが湧きあがる。怒ったか野口スパート、大佐倉の坂でQちゃん追い抜く。

競技場に入る。野口追いあげて心で呟く…連続金の私のプライドが許さないわよ…。Qちゃん譲らず心で呟く…私には日本女子最初の金という意地があるのよ…。

何と！二人同時ゴールです。世界初の二人優勝です。『まさか ひよつとして夢なので』。そして三位は、この難コース熟知の市民代表の翔ひろ子だ。次いでオランダがゴール。拍手と大歓声で眼が覚めた。夢心地最高ランラン。 （西志津 白石 義孝）

若者

わかもん

まあ、いつの御時世でも必ず、「近頃の若えヤツは」と云う台詞が聞かれます。かくいう後期中年者のアタシも云ったり、云われたり…。何でしよう、携帯電話を片時も手放さずパコパコと指を動かしております。よくもまあそんなに伝えたい情報があるものだ、と感心したり呆れたり。ヒデエのになると三人集まって、メールでやりとりしてるとていう、もうなんか口で話した方が早エだろって奴もいる有様で。

しかし、何でそう携帯から片時も離れられないのかねエって尋ねてみると連中の云う事にや、「すぐ返事しないと仲間ハズレになる」「携帯で会話すると、結構云えない事も云える」「空気読めないヤツ、と思われたくない」この「空気読めないヤツ」で若え連中の言葉で「KY」で

すか、これを聞いた時、ああこの子達も又、戦っているのかなと思いました。

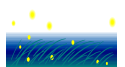
アタシは体験した事ありませんが、今から六十余年前、日本中が、その「空気」に支配された事がありました。そして、その「空気」が読めないヤツは非国民として連行されたと聞きます。そう、「大日本軍大勝利！」という偽りの「空気」です。恐ろしい事です。悲しい事です。

今の若者達も、「携帯」という、銃剣に代わる武器を手にも、又、得体の知れない何かと戦っているのでしょうか。一体、何が敵なのか彼等自身も分かっていないまま。

今年も八月十五日が近付いてまいりました。生憎、御縁はないですが、九段の大神に咲き誇る当時の「若者」達の魂は今の、彼等が命を賭してまで守った我々の祖国：日本を、どう御覧じているのでしょうか。

(中志津 松井 史郎)

初螢



螢(ほゝたる)に暮れねばならぬ空のあり・稲畑汀子 梅雨前の週末の夕暮、「あつ、あそこー」というK女史の声が里山に響いた。我ら螢友会(注)のメンバーは一斉にその声の方を振り返った。

一匹のホタルが大きな光を放ちつつ暮れなずんできた里山の法面の茂みに輪を描いていた。今年度初のホタル鑑賞会の幕開けである。

此処は佐倉市西御門の里山で、田圃には苗が見事に整列し、濃緑の斜面林を含む景観は見事なものである。

(注)前身は市民カレッジ十四期生「環境保全G」で、会員数は十二名。

さあそれからは「あそこにも!」「ここにも!」と会員の歡喜の声が方々で上がった。これまで吉見地区の田圃で平家を観察してきた我々には、ここのホタルの光は随分と大

きく且つ明るく感じられた。

源氏である。日も暮れてあたりの闇が濃くなった田圃道を逍遙しながら、この世のものとも思えない光の乱舞に、誰もが酔いしれていた。そして、目を田圃の方に向けると、青田の上を浮いては消え、消えては浮くように飛び交う光景が広がっていた。将に夢幻の世界である。

草の葉を落つるより飛ぶ螢哉・芭蕉

ホタルは古くからわが国の夏の風物詩として親しまれてきたが、人里の崩壊で、その存在がいつしか忘れられつつあった。市の環境保全課では谷津環境保全指針をベースに、ホタルの保存活動に注力したこともあって、市内五十箇所に及ぶ「ほたる生息調査」では七十%以上の場所での発生が確認されている。

ずっと来て袖に入りたる螢哉・杉風

至福のひとときであつた。

(中志津 北村 耕三)

8月の黒板

なかま編集会議が表彰されました

『なかま』の編集は高齢者短期大学のOB・佐倉市民カレッジ生とそのOBからなる編集委員がボランティアで行っています。

創刊32周年を迎える『なかま』。編集会議のメンバーが代わってもその精神を受け継ぎ、1号も絶やすことなく毎月発行され続けています。

このたび、「なかま編集会議」の高齢者の仲間づくりへの貢献、社会教育振興への多大な功績が社団法人日本善行会で評され、6月12日に「平成20年度特別表彰善行銀章表彰」を受賞しました。

ただいま表彰状と記念の盾を中央公民館ロビーに展示しておりますので、『なかま382号(8月号)』と併せまして是非ご覧下さい。

問い合わせ 佐倉市立中央公民館 (第2・第4月曜日は休館日です)

電話 485-1801

URL <http://www.city.sakura.lg.jp/kominkan/cyuou/index.htm>

さくら道

「空気と水と安全はただ」と言われてきたように、とりわけわが国の治安の安全性は高かった。

しかし、去る六月八日に発生した「秋葉原通り魔事件」。死亡七名と負傷十名の犠牲者が出た痛ましい事件はまだ記憶に新しい。加害者個人のストレス発散のための単純な理由の無差別殺傷事件であった。

報道メディアの発達に伴いテレビ、ラジオや新聞では、日本のどこかで殺傷事件が毎日のように報道されているのが最近の日本の治安状況である。

かつて、わが国を訪問する外国人から国内の安全について聞かれた場合、胸を張ってその安全性を自慢したものであった。それも過去の話。「空気と水と安全はただ」ではなくなった。

あとき



勝敗は時の運で、七月場所の琴欧州の成績は惜しい事でした。金田様達のグループには、今度は応援の為のダンス会をお願いしたいです。

白石様の夢物語、実は東京国際女子マラソン大会が今年十一月第三十回をもって終了となる事を意識されていた事と聞きました。御本人のマラソン生活が充実されているから

こそ、この様な楽しい夢物語が思いつかれるのでしょうかね。

松井様の独得な語り口で、携帯という銃剣に代わる武器で得体の知れない敵と戦っているのでは、という表現は確かにと胸突かれるものでした。

北村様達の螢友会の活動をされている皆様には、心から敬意と感謝の気持ちを書いたと思います。数年前、私は螢に会えた瞬間、実に半世紀以上の時空を戻った様な心地がしました。「蛍見て恋しきものよ父母兄弟」(坪井)